

全国救急隊員シンポジウムを北九州市で開催

救急企画室

1. 救急隊員シンポジウムとは

「第22回全国救急隊員シンポジウム」が、一般財団法人救急振興財団と北九州市消防局との共催により、1月30日（木）と31日（金）の2日間にわたって、北九州市(西日本総合展示場・北九州国際会議場)で開催されました。

この「全国救急隊員シンポジウム」は、我が国の救急業務の充実と発展に資することを目的に全国の救急隊員、都道府県、その他関連する医療従事者などの救急業務に関係する者が一同に会し、実務的観点からの研究発表や意見交換を行っているもので、平成4年度より毎年1回開催され、今年で22回を数えました。



特別講演



2. 今回のシンポジウムの内容について

全国で初めて同一都市での二度目の開催となった今回のシンポジウムは、北九州市にとっても市制施行50周年を記念する事業の一環として挑まれ、「この道“救急救命”より、我を生かす道なし。～新たな風を北九州から～」という力強いテーマを掲げて開催されました。

開会式直後の特別講演では「新たな病院前救護体制とこれからの救急救命士に求められるもの」と題して講演が行われました。講演では、救急出動件数が増加する中で救急救命士への責任と役割は益々重要になっており、平成26年4月1日には救急救命処置範囲が拡大され、今後、更なるメディカルコントロール体制の充実のもと、より質の高い病院前救護体制が求められるなど、救急隊員は知識技術の向上に加えて医療専門職としての自覚をもつことが重要であるとの内容に、多くの参加者にとって大変貴重な講演となりました。

市民公開講座「救急車の上手な使い方～いざという時のために知っておきたい知識～」では、救急出動件数の増加に対して、限りある救急資源をどういかに有効に活用していくかについて、救急の知識や救急車を呼ぶべき症状等を交えながら、救急車の適正利用について社会全体で共有していく必要性を考えていただきました。講座には、事前にリーフレットを作成し広くPRした効果もあり、多くの市民の方々に参加していただきました。

救急業務を管理する立場の職員向けに開催された「救急業務管理講座」では、近年の救急業務の高度化や住民からのニーズに対応するためには、救急業務管理者の育成をはじめ責務や業務について、各消防本部から参考となる取組の発表がありました。会場は満席となる盛況ぶ



救急業務管理講座

りで、世代交代における知識や技術の伝承について活発に議論されました。

3. 地元関係者の熱心な取組

会場には、過去最多となる8,410名（2日間延総人数）の関係者が来場されるという、盛大なシンポジウムとなりました。これもひとえに、主催者である一般財団法人救急振興財団や北九州市消防局をはじめ、地元医師会等関係各機関の皆様が一致協力してシンポジウム運営にあたられたご尽力の賜物であるといえます。今後もこのシンポジウムが救急業務の更なる充実と発展に資するものとなることを期待しています。

なお、次回の「第23回全国救急隊員シンポジウム」は、平成27年1月29日(木)及び30日(金)の2日間、神奈川県相模原市において開催される予定です。

問い合わせ先

消防庁救急企画室 上西
TEL: 03-5253-7529